

令和5年3月吉日

各 位

福井大学教育学部長	山本博文
附属義務教育学校長	牧田秀昭
福井大学理事	松木健一
福井大学学長	上田孝典

## 附属義務教育学校のさらなる飛躍のために

～後期課程校舎改修に伴う寄附金ご協力のお願～

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は福井大学の活動に格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、福井大学教育学部附属義務教育学校後期課程校舎は独立開校して以来の老朽化した建物です。そこで、耐震補強を含め、令和4年9月から令和5年3月の約半年をかけて、建物の改修工事を行っております。

福井大学は、令和4年度より総合大学で唯一の“教員養成フラッグシップ大学”に指定され、日本の教員養成システムをリードしていく立場となりました。これに伴い、附属義務教育学校は新しい教員養成の実践の場としての役割がこれまで以上に重要になっていきます。そこで、この改修の機会に附属義務教育学校校舎を教員養成フラッグシップ大学にふさわしい校舎へと整備したいと考えています。

つきましては、生徒たちの学習環境を、教員養成フラッグシップ大学の附属学校と胸を張って言えるように、またできるだけ新しい教育に対応できるように整備したく、後期課程校舎改修に伴う理科室（多機能プロジェクトルーム）整備およびICT機器整備4,000万円を目標として、「附属義務教育学校応援募金」を開始させていただきたく、皆様のご協力をお願いするものです。

附属義務教育学校の発展のために、今一度のご協力とご支援をなにとぞお願いいたします。

なお、ご寄附に関する詳細は同封の募金趣意書をご覧ください。福井県ふるさと納税を利用してご寄附いただく際には、附属義務教育学校ホームページに「福井県ふるさと納税の具体のお手続きポイント」(<http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~fuzoku-g/link/>)を掲載しましたのでご参照ください。

問い合わせ先：福井大学附属学園寄附金事務室（附属義務教育学校校舎改修に関すること）

TEL：0776-22-7171 E-MAIL：sfuzoku-k@ad.u-fukui.ac.jp

福井大学基金事務局（寄附手続きに関すること）

TEL：0776-27-9903 E-MAIL：kikin@ad.u-fukui.ac.jp

## 校舎改修に伴い「理科室」の枠を越えた多機能プロジェクトルームを設置 －未来を担う人材を育む新しい教育環境の実現へ－

福井大学教育学部附属義務教育学校長 牧田 秀昭

本校は、伝統的に知識注入型の講義形式の授業だけではなく、自分たちで課題を見つけ、知恵を出し合い、議論しながら解決に向かう「協働探究」による「プロジェクト型学習」を柱に教育活動を展開しております。国においても、今回の学習指導要領改訂で全ての校種で推進することを決定したところであり、国内はもとより、国外からも国家レベルの視察団が訪れるなど、本校は文字通りパイロット校としての役割を果たしています。

このような中、今回の後期課程校舎改修に伴い「協働探究」をより効率的に実現させるため、理科室において機能的な学習環境とデジタル機器等を整備し、未来を担う「附属らしい」主体的・創造的な人材の育成を行っていきたいと考えております。

具体的には、教師の指示に従うだけでなく、生徒たち自らが実験・観察内容やその方法を創出していく力を育成するため、実験・観察機材が一望できるような環境を準備するとともに、教師との距離を縮め、落ち着いた学習環境と実験・観察の効率性の両立を行っていきます。さらに、プロジェクターを複数台設置し、多元的な生徒たちのプレゼンテーションを可能にするほか、正面の壁全面をホワイトボードとし、大画面で臨場感あふれる映像を映し出します。

また、この理科室は、活動内容によってどのような机の配置も可能とし、理科のみならず、生徒主体の学びを推進するために様々な活動にフル稼働している「プロジェクトルーム啜」のように活用していきたいと考えています。

将来的には、さらにAIを含む高機能な機器を整備して教育におけるDXを先導する役割を果たし、Society5.0に対応する人材を育てていきたいと考えておりますので、ぜひともこのような理科室設置にお力をお貸しいただきたいと思っております。



【図】 理科室の完成イメージ

## 【募金の概要】

名 称：附属義務教育学校応援募金

目 的：附属義務教育学校後期課程校舎改修に伴う理科室やICT機器の整備

事業費：4,000万円

(理科室整備 3,000万円、ICT機器整備 1,000万円)

募集期間：令和7年3月まで

募金方法：別添の振込用紙またはインターネットによる振込み

①福井大学基金（羽ばたけ基金）への振込み

②福井県ふるさと納税（県内大学の魅力向上応援）

寄付額の1/5は福井県の県内大学の連携事業に活用されます。

- ご寄附に関する詳細は同封の募金趣意書をご覧ください。

福井大学基金（羽ばたけ基金）及び福井県ふるさと納税（県内大学の魅力向上応援）へのご寄附は、税制上の優遇措置が受けられます。（趣意書裏面「募金（ご寄附）のお手続き方法」の「税制上の優遇措置」を参照してください。

また、ふるさと納税によるご寄附をインターネットで行われる場合は、別添資料「福井県ふるさと納税の具体のお手続きポイント」（本校ホームページ上部にあるリンクの中にも掲載されています <http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~fuzoku-g/link/>）または福井大学基金のホームページ URL (<https://www.u-fukui.ac.jp/kikin/furusato/>) の「お手続きのポイント」もご参照ください。

※振込用紙をご利用の場合、「福井大学基金」の振込用紙は、通信欄⑦附属学園の応援〔賑の会〕の横に、卒業回（〇〇回卒、または〇〇年卒）をご記入ください。

また、「福井県ふるさと納税寄附金」の振込用紙は、ふるさとへの応援メッセージ欄の「賑の会」に続き、卒業回（〇〇回卒、または〇〇年卒）をご記入ください。

- ご厚志に対する謝意

10万円以上のご寄附の方には、ご芳名を福井大学教育学部附属義務教育学校内のご芳名板に刻み、末永く顕彰させていただきます。

【芳名板イメージ図】

「附属学園の応援」事業寄附者御芳名				
福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子
福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社
〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎
福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子
福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社
〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社	〇〇〇株式会社
福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子
福井 花子	〇〇〇株式会社	〇〇〇株式会社	福井 花子	〇〇〇株式会社
〇〇〇株式会社	福井 太郎	〇〇〇株式会社	〇〇〇株式会社	福井 太郎
福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎	〇〇〇株式会社
福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社
〇〇〇株式会社	福井 太郎	福井 花子	〇〇〇株式会社	福井 太郎

附属義務教育学校  
後期課程校舎改修

## 募金趣意書

福井大学教育学部附属学校は、昭和38年に現在の地に独立開校し、平成29年には国立大学附属学校で初めて義務教育学校へと移行、世界をリードする日本型学校として、エジプトをはじめ、海外からの多くの教員が研修に訪れる拠点校となりました。さらに令和4年には福井大学は国立大学中のベスト4の旗艦大学（教員養成フラッグシップ大学）に指定され、まさに日本の、世界の教育をリードする役割を担うこととなりました。そして附属義務教育学校はこの新しい教育の実践の場としての機能を担っていくことになりました。

しかし、現在の附属義務教育学校後期課程（旧中学校）の校舎は、独立開校して以来の老朽化した建物です。そこで耐震補強を含め、令和4年9月から改修工事を行うこととなりました。この改修に合わせ附属義務教育学校を、教育界をリードできる教育環境の整った学校へと整備したく、広く募金のご協力をお願いするものです。募金活動の趣旨にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

福井大学教育学部長 **山本 博文**  
附属義務教育学校長 **牧田 秀昭**  
福井大学理事 **松木 健一**  
福井大学長 **上田 孝典**

さらなる飛躍のために  
附属義務教育学校の





# 附属義務教育学校 校舎改修の概要



## 附属義務教育学校の精神「自主協同」

附属義務教育学校の精神は、何といても伝統に培われた「自主協同」。この主体性と協働性は、いま最も須要にして、世界が希求している学力です。

### これまでの取り組み

これまで附属義務教育学校の校舎は、「自主協同」の校訓のもとで進められてきた新しい教育システムに合わせて、改修を重ねてきました。最近では、旧中学校の体育館の建設、小中をつなぐ中央棟の建設、広い駐車場の整備などを、皆様のご支援によって相次いで実施してきました。

木材をふんだんに使った断熱効果の高い建築方法を採用し、1階部分には義務教育学校移行に合わせて、これまで前期、後期課程それぞれにあった職員室を一つにまとめました。また2階部分にはアクティブな学習が可能な「プロジェクトルーム」を設け、子どもや教員の協働探究の場とするとともに、海外からの教員研修の場としても利用しやすいスペースとしました。また、教職大学院の一部が、旧小学校校舎の2階部分に移転し、義務教育学校の新たな教育開発に強い連携をとることができる環境になっています。今後、フラッグシップ大学に指定された福井大学の協働実践研究の場として、附属義務教育学校の益々の発展が期待されています。



協働的な探究型のプロジェクト学習は全国の教育界をリード

## 明日が広がる学校を創る

附属義務教育学校では、この学力が学校環境の持つ国際性と柔軟性によって磨き上げられようとしています。世界各地から附属学校の教育を学ぼうと先生がやってきます。子どもたちは自分たちの学びを伝えようと必死です。

また、学校では1年生から9年生までが学び合う姿を目撃できます。「覚える」学習ではなく、分かち合い、相手を活かす学びです。

子どもたちは、このしなやかさと Society 5.0 に対応する技術を身に付けて育ちます。義務教育学校後期課程（旧中学校）の校舎改修が学びの「自主協同」をそっと後押ししてくれます。



グループワークとICTの併用が本校の特徴

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、  
子供たち一人一人に公正に個別最適化され、  
資質・能力を一層確実に育成できる  
教育ICT環境の実現



海外からの研修生

# 募金のお願い



福井大学附属義務教育学校では、この後期課程校舎の改築により、先進的で新しい教育スタイルに対応できる附属義務教育学校、教員養成フラッグシップ大学にふさわしい附属義務教育学校にしたいと考えています。つきましては、多くの方にこの趣旨に賛同いただき、募金にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- **募金の名称** 附属義務教育学校応援募金
- **募金の活用目的**
  - ① 後期課程校舎改修に伴う義務教育学校全体の設備工事費（約 4000 万円）、および備品、特に学校のデジタル環境の整備（約 3000 万円）
  - ② 給食調理室の整備（約 2000 万円）、教育環境の整備（約 1000 万円）
- **募金の目標額** 1 億円  
個人の方は一口 1 万円、法人・企業の方は一口 5 万円をお願いします。  
(一口以上、何口でも結構です。1万円未満の募金も大歓迎です。)
- **募金方法** 「福井大学基金（羽ばたけ基金）」または「福井県ふるさと納税」での募金となります。  
お手続きの方法については裏面をご覧ください。
- **募金の募集期間** 令和 4 年 6 月から令和 7 年 3 月
- **ご寄附に対する謝意** ご寄附をいただいた皆様には、お礼状をお送りするとともに、10万円以上のご寄附の方は、芳名板にご芳名を掲載させていただきます。  
また、ご寄附の金額に応じて、大学からお礼もごさいます。

## 問い合わせ先

### 附属義務教育学校校舎の改修 に関すること

福井大学教育学部附属学園寄附金事務局

TEL 0776-22-7171

E-mail sfuzoku-k@ad.u-fukui.ac.jp

### 寄附手続き に関すること

福井大学基金事務局

TEL 0776-27-9903

E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

## topic

附属義務教育学校後期課程の校舎改修中の6ヶ月間は、後期課程の生徒は教育学部がある福井大学文京キャンパス内の講義室や実験室を使って、学習を進めることになります。後期課程の生徒にとっては、大学の施設で学ぶことのできる絶好の機会になります。生徒たちは「大学生と一緒に理科実験や、地域づくりの探究学習ができる!」と息巻いています。さすが附属の子どもたちです。

一方、教育学部の学生にとっても、同じキャンパス内、建物内に附属学校の生徒が同居する絶好の実践の機会になります。附属生徒たちを前にして、新しい教育にトライするまたとない機会になればと思っています。



学びの場となる総合研究棟

# 募金（ご寄附）のお手続き方法

福井大学基金（羽ばたけ基金） または 福井県ふるさと納税（個人の方のみ） をご利用いただけます。

## 福井大学基金（羽ばたけ基金）へのご寄附の方法

### 1 付属の専用振込用紙でのお振込みによるご寄附

専用振込用紙に必要な事項をご記入の上、福井銀行またはゆうちょ銀行にてお手続き願います。  
手数料は大学が負担いたします。  
その他の金融機関でのお手続きも可能です。詳細は基金ホームページまで。

### 2 インターネットでのお手続きによるご寄附

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-Easy（インターネットバンキング決済）がご利用可能です。  
基金ホームページ（インターネットでのお申込み）からお手続きください。  
募金（寄附）の用途は、「**⑦附属学園の応援**」をお選びください。



福井大学基金 HP

#### 【税制上の優遇措置】

『福井大学基金（羽ばたけ基金）』へのご寄附は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人の方

#### ●所得税の優遇措置

寄附された年の所得税から控除を受けることができます。

（寄附金控除額 = 寄附金合計 - 2000円）

※控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。

#### ●個人住民税（県民税・市町村民税）の寄附金税額控除

寄附された翌年の1月1日に福井県内にお住まいの方は、寄附された翌年の個人住民税から控除を受けることができます。

法人からのご寄附

法人税法第37条第3項第2号により、全額損金算入が可能です。

## 福井県ふるさと納税へのご寄付の方法

### 1 付属のゆうちょ払込取扱票でのお振込みによるご寄付

専用のゆうちょ払込取扱票に必要な事項をご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行にてお手続きください。  
手数料は無料です。

### 2 インターネットでのお手続きによるご寄付

クレジット払い等が可能です。福井県ホームページ「県内大学の魅力向上応援」から、「福井大学」を選択、募金（寄付）の用途は、「**⑦附属学園の応援**」をお選びください。



福井県ふるさと納税 HP

#### 【税制上の優遇措置】

寄付金のうち2,000円を超える部分については、住民税等の控除が受けられます。ワンストップ特例申請が便利です。  
※控除される額は、年収に応じた上限があります。

電信扱		振込依頼書		(銀行保存用)	
※依頼日		年	月	日	ゆうちょ銀行、福井銀行本支店間に限り受取人払
受取人	福井大学基金				
金額	千 百 十 万 千 百 十 円				
振込先	福井銀行 本店 (普) 6044770			■払込取扱票は、至急、各行取りまとめ支店に直送してください。 依頼人→仕向銀行	
※フリガナ					銀行領収印
※氏名					
※住所	〒	-	都・道 府・県	市・区 町・村	
※電話番号	-	-			

切り取らないでお出しく下さい。

### 【払込用紙記入上のご注意】

ご寄附の方法を

福井大学基金

又は

福井県ふるさと納税

の

何れかよりお選びください。

お選びいただいた方法の払込取扱票に、右記の注意をご確認の上、必要事項をご記入ください。

02	金沢	払込取扱票 (振込通知書)		通常払込料金加入者負担	
口座記号番号		金 千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 7 8 0 - 8		4 1 0 3 8			
加入者名	福井大学基金				
ご依頼人	振込先	福井銀行 本店		【至急】 依頼人→仕向銀行 →被仕向銀行 →受取人	
	寄附者名 (おなまえ) ※	フリガナ		電信扱	
通信欄	ご住所 ※	〒 - 都・道・府・県			
	TEL ( ) -	Mail アドレス			
※	<input type="checkbox"/> 法人・団体等 <input type="checkbox"/> 一般の方 <input type="checkbox"/> 在学生 (学部・大学院 / ) <input type="checkbox"/> 卒業生・修了生 (卒業・修了年月、学部等 / )    年 月 卒業・修了、    学部    研究科) <input type="checkbox"/> 在学生・卒業生等のご家族 (在学生のお名前)    ) <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 役員・教職員				
通信欄 ※	(1) ご芳名の掲載の可否 <input type="checkbox"/> 匿名希望 (2) ご寄附いただける事業 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 附属学園の応援 (暇の会)				
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号金第3750号) これより下部には何も記入しないでください。					

### 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 7 8 0 - 8				通常払込料金加入者負担
		4 1 0 3 8			
加入者名	福井大学基金				
金額	千 百 十 万 千 百 十 円				
振込先	福井銀行 本店				
ご依頼人	おなまえ ※				
料金	日 附 印				
備考	日 附 印				

この受領証は、大切に保管してください。

### 福井大学基金

郵便局 (ゆうちょ銀行)・福井銀行をご利用の場合

・払込取扱票の金額欄に、今回ご入金いただく金額をご記入ください。手数料は大学負担です。  
・匿名ご希望の場合は通信欄の「匿名希望」に☑をお願いします。

その他の金融機関をご利用の場合

・払込取扱票の金額欄に、ご寄附いただく金額から所定の手数料を差し引いた金額をご記入ください。払込手数料を含めた金額を寄附金としてお取り扱いたします。

ここから切り離してお出しく下さい

07	金沢	払込取扱票		払込料金加入者負担	
口座記号番号		金 千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 7 5 0 - 7		9 6 0 4 2 4			
加入者名	福井県ふるさと納税寄付金				
通信欄	※ 私は、福井県を応援するために寄付します。				
	寄附金額 (内訳) (県への寄付)	円		応援するプロジェクト 附属学園の応援	
ご依頼人	母校等応援寄付				福井大学
	おところ (郵便番号) ※	おなまえ (電話番号 - -)			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号金第9129号) これより下部には何も記入しないでください。					

### 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 7 5 0 - 7				払込料金加入者負担
		9 6 0 4 2 4			
加入者名	福井県ふるさと納税寄付金				
金額	千 百 十 万 千 百 十 円				
ご依頼人	おところ (郵便番号 - )				
備考	おなまえ 【この払込は、ふるさと納税です。】				
	日 附 印				

この受領証は、大切に保管してください。

### 福井県ふるさと納税

・払込取扱票に、ご住所、お名前、電話番号、寄附金額など、必要事項をご記入の上、最寄りの郵便局でお支払いください。払込手数料は無料です。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。  
切り取らないでお出しく下さい。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。  
切り取らないでお出しく下さい。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。



(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には何も記載しないでください。

(ご注意)

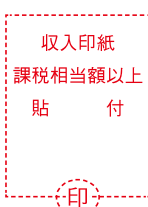
・この用紙は機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。